

鈴鹿山系の緑守ろう

菟野の 御在所岳 福島・避難家族ら植樹

菟野町の御在所岳山で福島県から三重県上公園で、鈴鹿山系に避難している家族を緑を守る植樹活動がお招待し、作業に参加した。今回は鈴鹿国定公園指定四十五周年記念として実施。思い出づりになれば、東背景にP.O法人「森日本大震災と原発事故林の風」(四日市市)



植樹作業で汗を流す人たち。菟野町の御在所岳

加するの初めて、植樹に一般の人が参

いる。では一〇年から続けて目標を開始。御在所岳計五千五百本の植樹をなぞが二〇〇五年から今回を含め植樹数は八丁寧に植えていった。人々が汗を流し、ドクタ

七家族二十六人が訪れた。同法人のメンバーらを含めて計約五百本の苗木を、

福島から避難している七家族二十六人が訪れた。同法人のメンバーらを含めて計約五百本の苗木を、